

日本ゲノム微生物学会 第8回総会議事録

日 時 平成26年3月8日(土) 15:20~16:00

場 所 東京農業大学世田谷キャンパス 17号館百周年記念講堂

吉田健一庶務・会計幹事が、議長として、石川周会員、漆原秀子会員を推薦し、承認を得た。漆原議長が、委任状14通を含め、日本ゲノム微生物学会細則第6条による定足数50名の出席をみたしており、総会が成立していることを確認し、議事に入った。

審議事項

第1号議案 2013年事業報告

小笠原直毅会長より、2013年の事業について報告が行われ、承認された。

第2号議案 2013年学会収支決算

大西康夫庶務・会計幹事より、2013年学会収支決算が報告された。また和地正明、藤田信之会計監査より、適切に会計処理がなされていることを確認しているとの報告書が提出されていることがスライドで示され、2013年学会収支決算は全会一致で承認された。

第3号議案 2014年事業計画案

小笠原会長より、2014年の活動計画が提案され、承認された。

また、研究奨励賞・若手賞について林哲也選考委員長より、研究奨励賞は該当なし、若手賞は矢原耕史氏が受賞される旨の報告があったが、矢原氏の業績は非常にレベルが高いものなので、若手研究者は臆することなく来年以降の応募を検討してほしい旨の説明があった。

第4号議案 2014年収支予算案

大西庶務会計・幹事より、2014年収支予算案について説明があり、承認された。

第5号議案 第9回年会(2015年)について

小笠原直毅会長より、吉田健一会員を年会長とし、2015年3月6日~3月8日に兵庫県神戸市の神戸大学で開催することが提案され、承認された。

また、第10回年会については東京大学駒場キャンパスを会場に、池内昌彦会員を年会長として開催することを検討しており、また学会10周年にあたることから、記念国際シンポジウムの併催を検討していることが報告された。

報告事項

- ・ 小笠原会長より、昨年の年会について、長浜という地方での開催にもかかわらず、300名を超える参加者があり非常に盛会であった旨、報告された。
- ・ 小笠原会長より、会費を2年連続して滞納している会員については、退会処分となる旨報告された。
- ・ 相馬亜希子会員より、若手の会について報告があった。昨年は9月19～20日に「ろうきん研修所富士センター」で開催され、今年も9月末頃に同じく「ろうきん研修所富士センター」で開催される予定である。

議長が、以上をもって議事を終了した旨をのべ、閉会を宣言した。